



近畿地方整備局 紀南河川国道事務所	配布日時	平成28年 4月25日 14時00分
資料配布		

件名	<p>紀勢自動車道と那智勝浦新宮道路で紀南地域が身近に！ 観光客の2割増に貢献 ～開通6ヶ月後の整備効果をお知らせします～</p>
----	--

概要	<p>○紀勢自動車道の南紀田辺IC～南紀白浜IC間が7月12日（日）、南紀白浜IC～すさみ南IC間が8月30日（日）に開通。 ○那智勝浦新宮道路の那智勝浦IC～市屋間が9月13日（日）に開通。 ○2路線の開通後の整備効果及び交通状況の変化をお知らせします。</p> <p>■観光活性化に貢献</p> <ul style="list-style-type: none">・関西国際空港と紀南地域間の移動時間が約70分短縮、紀南地域内の移動時間も約45分短縮。・移動時間の短縮により、観光地の訪問箇所数や観光消費額の増加、観光圏域の拡大など、観光の活性化に貢献。・開通に合わせてオープンした道の駅の利用も好調で、沿線市町の観光客数は約2割増加。 <p>■地域の救急活動に貢献</p> <ul style="list-style-type: none">・紀南地域の高次救急医療施設の60分圏域が拡大し、60分圏域人口が約1万5千人増加。・緊急車両限定の緊急退出路が搬送時間短縮に貢献。
----	---

取り扱い	—
------	---

配布場所	大手前記者クラブ 近畿建設記者クラブ 和歌山県政記者クラブ 和歌山県地方新聞記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ 田辺記者クラブ 新宮中央記者会 新宮記者クラブ
------	---

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 副 所 長 吉村 英二 調査第二課長 中村 恭介 TEL 0739-22-4564（代表）
------	--

観光産業の生産性向上に貢献(紀南地域のアクセス向上)

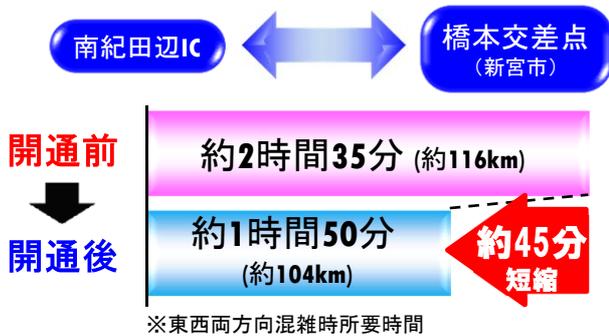
◇紀南地域の段階的な開通により、関西国際空港と本州最南端の串本町の移動時間が約70分短縮。また、紀南地域内の田辺市と新宮市の移動時間も、紀勢自動車道と那智勝浦新宮道路の開通により約45分短縮。

◇全国各地から訪問される観光客から移動時間短縮など歓喜の声が多数。

●紀南地域へのアクセス向上



全国各地からの観光客の声



出典: プローブデータ 【開通前】H26.9.1~9.30
【開通後】H27.9.14~9.30



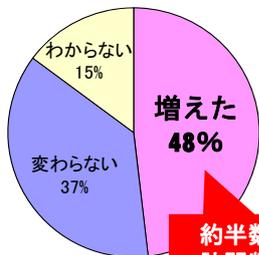
観光産業の生産性向上に貢献(紀南地域のアクセス向上)

- ◇移動時間短縮により、訪問先や観光消費額の増加、観光圏域の拡大など観光産業の生産性向上に貢献。
- ◇紀勢自動車道及び那智勝浦新宮道路開通により、串本経由の所要時間が短縮され、熊野古道だけでなく串本経由のツアーを新たに設定。
- ◇関空までの送迎を組み込んだツアーが企画され、これまで迎え中心だった地元タクシー会社に串本町から関西国際空港に送迎を行う新たな業務が創出。

●訪問箇所数の増加・圏域の拡大

◆訪問した観光地・観光施設の数は増えましたか？

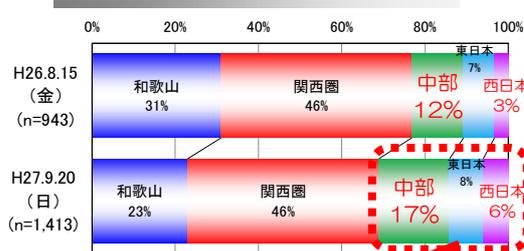
(来訪2回以上・紀勢自動車道・那智勝浦新宮道路利用者81人の回答)



約半数の方は訪問数が増加

出典：紀南河川国道事務所アンケート調査結果

道の駅「くしもと橋杭岩」来場者 出発地域の変化



特に中部圏域や西日本からの観光客が増加

出典：紀南河川国道事務所車籍地調査結果

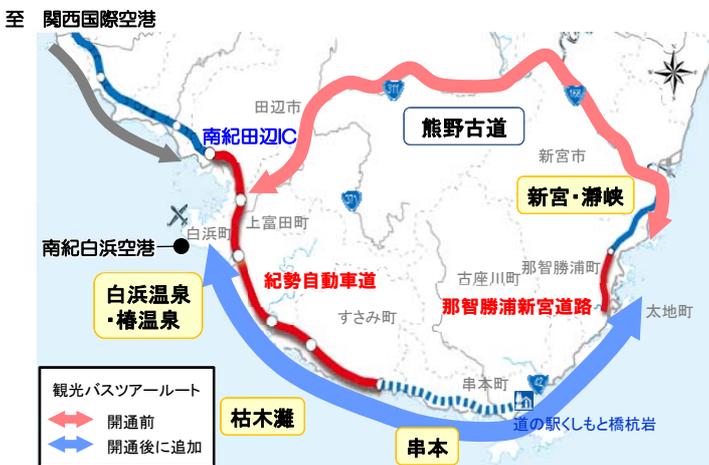
道の駅関係者の声

紀勢自動車道や那智勝浦新宮道路の開通後、昨年同時期と比較して売上額が最大約7割増えました。



▲道の駅くしもと橋杭岩 駅長

●紀勢道を利用した新たなバスツアーが誕生



●関空までの送迎を組み込んだツアーが誕生

感動のスイス2大名峰マッターホルン・ユングフラウヨッホと電が住むと伝わるピラトス山のハイキング

500-8868-93

思い出の4つのハイキングで楽しむ スイス

6日間

串本町からも関空への送迎を設定

白浜・田辺・新宮のお客様 新宮・勝浦・串本のお客様

ご自宅から送迎車付!! 2名様以上にご予約ください

248,000円

30分前

出典：読売旅行和歌山営業所提供資料

観光バス事業者の声

今までは熊野古道を経由するバスツアーしかありませんでしたが、紀勢自動車道や那智勝浦新宮道路が開通し、串本町経由の所要時間が短縮できるようになったため、新たに串本町経由のバスツアーを設定しました。



▲中紀バス担当

タクシー事業者の声

関西国際空港を朝出発の旅行に対して、紀南地域からは電車がなく不便であったところ、紀勢自動車道の整備で串本～大阪間の所要時間が短縮したことで、田辺・白浜発や新宮・那智勝浦発の送迎車付きツアーに、新たに串本発のツアーが加わったことから、関空への送迎という新たな業務に力を入れているところです。



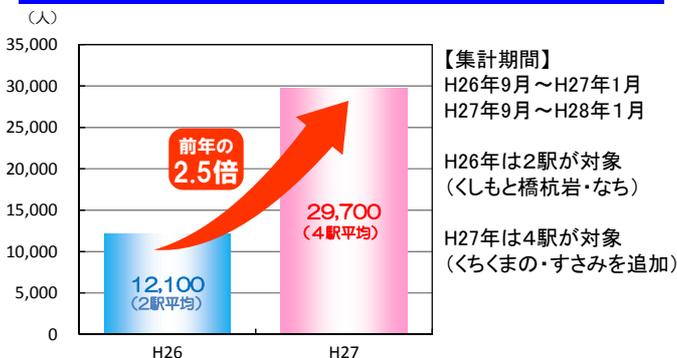
▲串本タクシー担当

地域の観光活性化に貢献(観光客の増加)

- ◇紀勢自動車道開通に合わせてオープンした道の駅くちくまのは約2万人/月、道の駅すさみは約7万人/月が利用。
- ◇沿線道の駅の平均利用者数は前年比で約2.5倍に増加。
- ◇沿線市町の観光客数(日帰り+宿泊客の合計)は前年比で最大約1.2倍に増加。



●道の駅利用者数(2駅又は4駅の平均値※)



※利用者数は、物販レジ通過者数、食堂利用者数から各駅独自に集計
 出典:上富田商工会、道の駅すさみ・すさみ町、道の駅くしもと橋杭岩、那智勝浦町提供

紀勢道開通に合わせてオープンした道の駅(2駅)の利用状況

- ◇くちくま:約2万人/月
- ◇すさみ :約7万人/月

くちくま: H27年8月～H28年1月の平均
 すさみ : H27年9月～H28年1月の平均

○漁業体験施設の声

紀勢自動車道が開通し、レストランや釣目的の来客数が増加しました。11月には、名物の伊勢海老丼目的で過去最多客数を記録しました。

▲弁天前定置水産担当

○宿泊施設の声

紀勢自動車道の開通に伴い、初めて大学野球部の合宿に利用頂き、年明けから団体・グループの問合せが増加しています。高速道路が串本まで延伸すれば、ファミリー層の利用が期待できます。

▲串本ロイヤルホテル担当

○観光協会の声

東海圏だけでなく関西圏からも観光客が増えたと実感しています。古座川には一枚岩、虫喰岩、牡丹岩などジオパーク箇所が力又一体験で一望でき、修学旅行の体験学習や海外からの観光客も増えています。

▲古座観光協会担当

●沿線市町の観光客数(日帰り+宿泊※)



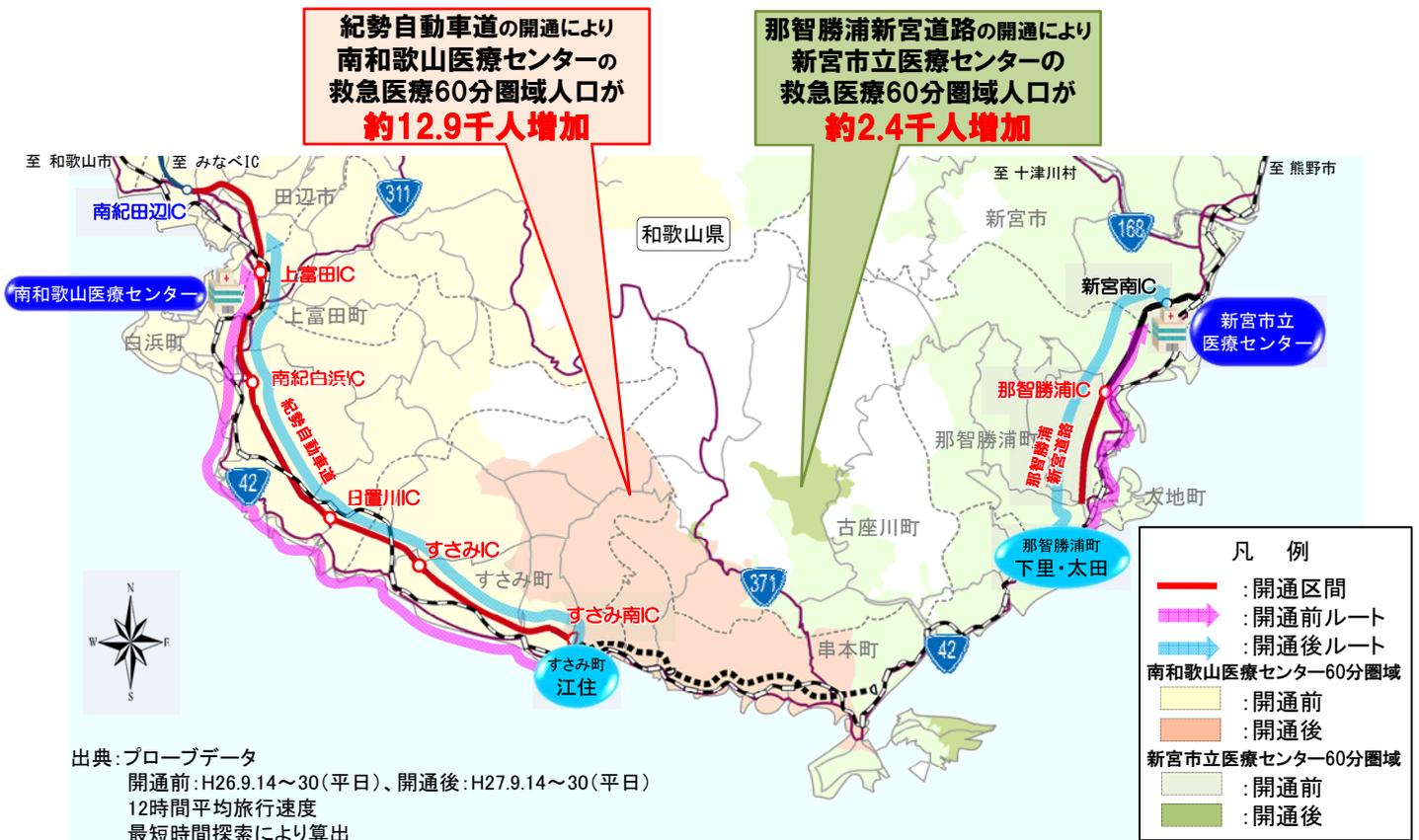
出典: H26 観光動態調査報告書(和歌山県)
 H27 白浜町・串本町・古座川町・新宮市提供(速報値)

地域の救急活動に貢献(救急医療圏域拡大)

- ◇紀勢自動車道、那智勝浦新宮道路の開通により、紀南地域の救急医療施設60分圏域※が拡大、**60分圏域人口が約1万5千人増加**。
- ◇救急搬送時間が紀勢自動車道沿線では約19分短縮、那智勝浦新宮道路沿線では約7分短縮。

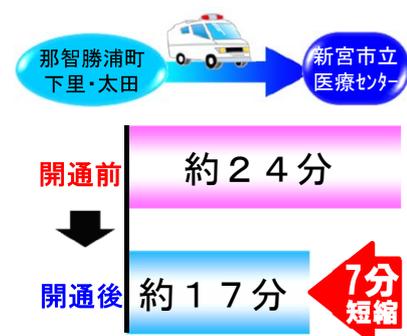
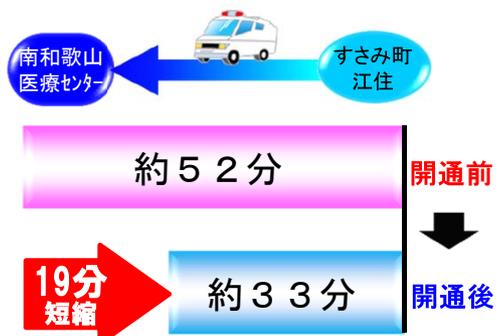
※重症外傷では、受傷から決定的治療（definitive treatment：手術や止血術など）を開始するまでの時間が1時間を超えるか否かによって生死が分けると報告され、この最初の1時間をgolden hour（ゴールデンアワー）と呼び、外傷患者の治療上重要視されています。
【出典：PTEC協議会】

●医療圏域の拡大・救急搬送時間の短縮



すさみ町江住→南和歌山医療センター
(三次救急医療施設)

那智勝浦町下里・太田
→新宮市立医療センター
(二次救急医療施設)



那智勝浦新宮道路が延伸し、下里地区や太田地区から新宮市立医療センターまでの所要時間が短縮しました。
 また、国道42号に比べてカーブによる揺れが減少し、患者への負担が軽減され、車内での処置が安定して行えるようになりました。

▲那智勝浦町消防本部

出典：白浜町消防本部提供データ
 開通前：H26.8.30～H28.2.28 開通後：H27.8.30～H28.2.29

出典：那智勝浦町消防本部提供データ
 開通前：H26.8.30～H28.2.28 開通後：H27.8.30～H28.2.29

地域の救急活動に貢献(救急活動)

- ◇紀勢自動車道開通後、すさみ町方面から紀南病院及び南和歌山医療センターへの200件に及ぶ救急搬送では、全て紀勢自動車道が利用されており、地域の救急医療に力を発揮。
- ◇紀南病院への搬送時には、緊急車両限定の緊急退出路が利用されており、地域の救急活動に貢献。

●開通後の救急搬送

白浜町消防本部対応件数※
(すさみ消防署・日置川消防署)

※南紀白浜IC以南の対応件数

全て紀勢自動車道を利用



出典: 白浜町消防本部提供 (H27.7.12~H28.2.29)

【拡大図】



●消防署職員の声

紀勢自動車道と緊急退出路が整備されたことで、すさみ町からの搬送経路は100%紀勢自動車道となり、すさみ町から紀南病院までの所要時間が大幅に短縮できました。

消防署へ戻る時間も短縮できているため、次への対応も早くなっています。



▲白浜町消防本部

紀勢自動車道が整備されて、紀南病院や南和歌山医療センターなど搬送先の選択肢が増えて助かっています。

特に紀南病院へは緊急退出路が整備されたことで、搬送時間が大きく短縮できています。



▲串本町消防本部

(参考)開通後の交通量

【紀勢自動車道(南紀田辺IC～すさみ南IC)】

◇開通後6ヶ月の平均交通量は、約5,000台/日～約10,400台/日。

(平日9,500台/日、休日12,200台/日)

◇既開通区間の阪和自動車道(みなべIC～南紀田辺IC)は約6%増加。

くじのかわ

◇国道42号の串本町有田は約74%増加、串本町鬮野川は約20%増加。

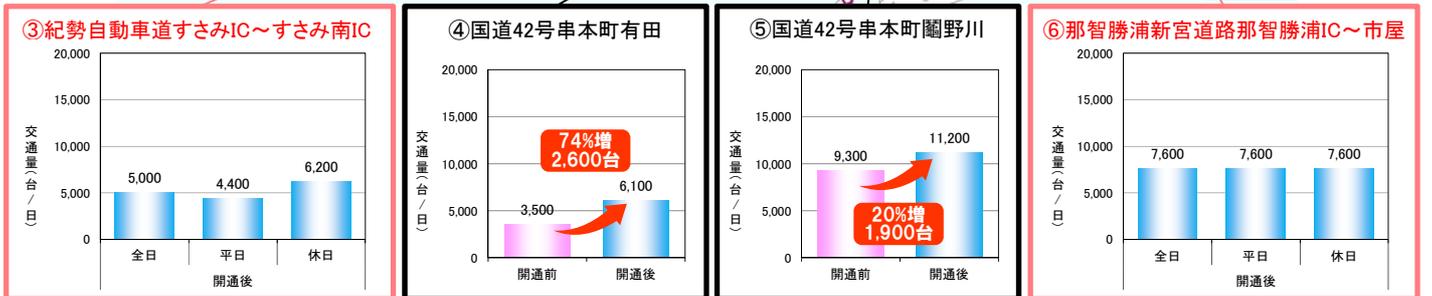
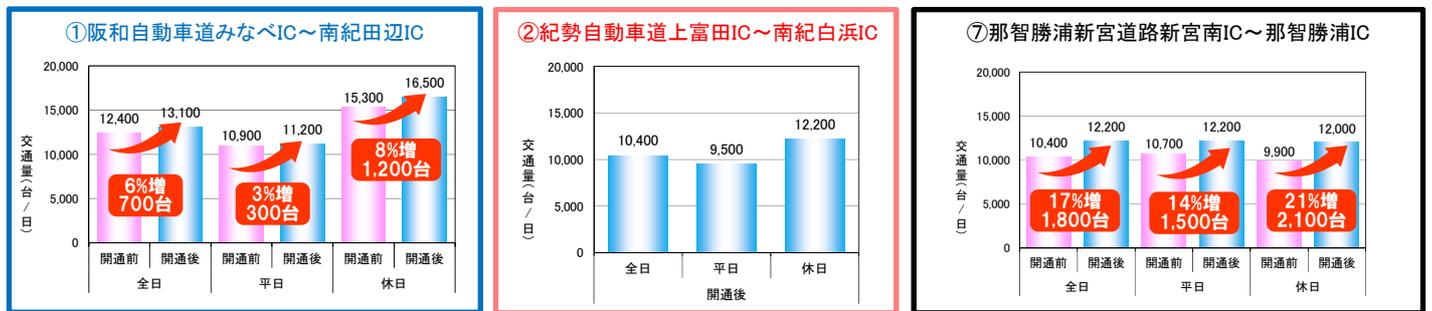
【那智勝浦新宮道路(那智勝浦IC～市屋)】

◇開通後6ヶ月の平均交通量は、約7,600台/日。

(平日7,600台/日、休日7,600台/日)

◇既開通区間の新宮南IC～那智勝浦IC間は約17%増加。

○交通量の変化



出典: NEXCO西日本 車両感知器データ
(開通前)6ヶ月平均: H26.8.31(日)～H27.2.28(土)
(開通後)6ヶ月平均: H27.8.31(月)～H28.2.29(日)

出典: 紀南河川国道事務所車両感知器データ
<紀勢自動車道>
(開通後)6ヶ月平均: H27.8.31(月)～H28.2.29(日)

<那智勝浦新宮道路>
[那智勝浦IC～那智勝浦町市屋]
(開通後)6ヶ月平均: H27.9.14(月)～ H28.2.29(日)

[新宮南IC～那智勝浦IC]
(開通前)6ヶ月平均: H26.9.14(日)～ H27.2.28(土)
(開通後)6ヶ月平均: H27.9.14(月)～ H28.2.29(日)

<国道42号>
(開通前)H22道路交通センサス、(開通後)H27道路交通センサス(速報値)

(参考)紀勢自動車道(南紀田辺IC～すさみ南IC)の開通について

●事業概要

紀勢自動車道(田辺～すさみ)は、京阪神と紀伊半島の各都市を結び、輸送時間の短縮や、一般道の混雑緩和を図り、地域の産業、経済、文化、観光の振興と発展に寄与することを目的とした道路です。

●位置図



【南紀田辺IC～南紀白浜IC】

開通日時 : 平成27年7月12日(日) 15時00分

延長 : 約14km

車線数 : 2車線

【南紀白浜IC～すさみ南IC】

開通日時 : 平成27年8月30日(日) 15時00分

延長 : 約24km

車線数 : 2車線

●路線概要



写真①



平成27年9月15日(火)
紀勢自動車道(日置川IC白浜方向)

写真②



平成27年9月15日(火)
紀勢自動車道(すさみIC串本方向)

(参考)那智勝浦新宮道路の概要

●事業概要

那智勝浦新宮道路は、国道42号の和歌山県新宮市から同県東牟婁郡那智勝浦町間における交通混雑の緩和及び交通安全の確保、東海・東南海地震や豪雨等の大規模災害時における救援ルートの確保、基幹病院へのアクセス向上等を目的とした自動車専用道路です。

【那智勝浦IC～那智勝浦町市屋】

開通日時 : 平成27年9月13日(日) 17時00分

延長 : 6.3km

車線数 : 2車線

●位置図



■今回開通区間の写真

なちかつうら
【①那智勝浦IC付近】



平成27年9月29日(火)撮影

にこう
【②二河トンネル付近】



平成27年9月20日(日)撮影

●路線概要図

